

# Tabula rasa

(図書館学生広報誌)

第14号

## ごあいさつ

皆さん、かなり遅くなりましたが、明けましておめでとうございます。今年初の『タブラ・ラサ』をお届けします。今年は卯年ですね。干支にちなんで、うさぎに関する本を探してみる、などいかがでしょうか？うさぎの生態について調べるもよし、うさぎの出てくる物語を探して読むもよし。図書館には色々な本があります。また、我々図書館サポーターも、皆さんが図書館をより利用しやすくなるよう、全力で取り組んでいきます。小さなきっかけからでも、気軽に図書館を利用してみてくださいね。 菰方 紫乃（日本文学科2年）

## 〈目次〉

図書館サポーター選☆抜 心が温まる本  
ブックハンティング購入本

図書館サポーターが全国の舞台へ（図書館総合展 / 学術情報オープンサミット）

第四回「読書家大賞」受賞者 & 読書を漢字一文字で表すと

ライちゃん人形

自動貸出返却機

「とぼログ！」（サポーターブログ）



梅光学院大学図書館学生広報誌

『Tabula rasa』 第14号

発行日：2011年1月25日

編集・発行：梅光学院大学図書館サポーター

## “タブラ・ラサ”の由来

図書館学生広報誌『タブラ・ラサ』は、2005年に『図書館新聞』として創刊されたものが起点となります。タイトル「タブラ・ラサ」は社会契約説を唱えたジョン・ロックの言葉で、ラテン語で「白紙」を意味します。「生まれたとき人は皆白紙である。そこに、経験によって様々な観念が書き込まれる」

その一つのよりどころとして図書館が存在してくれれば、読書を通して様々な経験が出来れば、そのような想いが込められています。

# 図書館サポーター一選☆抜 心が温まる本

この冬図書館サポーター（+職場体験に来てくれた中学生）がオススメする、襲い来る大寒波から身を守る一冊。寒いとき、ただサムいとき、ただただ寒いときは是非これらの本をお読みください！ 温まり方は人それぞれです。

◇田中 聖（日本文学科2年）

『カルメン』（プロスペル・メリメ / 堀口大樹（訳） 新潮社）[080/(2)メ-1-1]

フランス文学の花形として名高き不朽の名作は、バスクのとある騎兵伍長を綴った恋愛狂想曲。一夜のために地位を失った。一夜のために生涯を狂わせた。しかし、一夜を欲して — ただただ堕ちていった。それは純愛か、それとも狂気か。斯くして恋に病み、愛に盲しい、嫉妬に狂った、それは情熱的な恋愛だった。「おれについて来ないのなら、殺す」「あんたに殺されるのはかまわない。でも、あんたと暮らすのはいや」

この冬、あの図サポ長がオススメする、身も心も熱くなる一冊。— 男は、一夜に全てを失ったのを気づいてはいなかった。さあ、我々は乾杯しよう。このアルコール度数120%の情熱的な恋愛に。

◇橋口 安奈（日本文学科4年）

『うさぎのマシュマロ』（クレア・ターレー・ニューベリー 講談社）[909.3/796]

「想う」ってこんなに暖かいんだ。きっとそう思います。貴方にとっての大切な人を思いながら、「想う」気持ちを思い出してみてください。

◇澤田 瑞穂（日本文学科1年）

『包帯クラブ』（天童荒太 筑摩書房）[913.6/199]

戦わないで自分の大切なものを“守る方法”載ってマス。



ライブラリアン  
13 世読書中



◇福永 兼三（日本文学科2年）

『蜜柑』（芥川龍之介 筑摩書房）[080/(61)001]

毎日に疲れた主人公と奉公に行く娘の列車の中での出来事。娘の少しの行動と空中に投げられた蜜柑。鮮やかな場面を見た時の主人公の心にはどのような変化があるのだろうか。文字だけしか読んでいないのに、頭の中にはその場面がきれいに浮かび上がってくる。忙しいこの時代。**私たち読者の心にも必ず何かを残してくれる作品です。**

◇三村 弘則（日本文学科2年）

『ラブコメ今昔』（有川浩 角川書店）[913.6/381]

『塩の街』『空の中』『海の底』でおなじみ、有川自衛隊モノの短編集。（自衛隊三部作シリーズの短編ではありません）たとえ、いつか別れることになるとしても、好きなものは好きだからしょうがない！！だってそれが恋でしょう！？乙女だってオタクだってオッサンだって自衛官だって、**ベタ甘ラブで何が悪い！！**

◇藤上 佑（日本文学科2年）

『都会のトム&ソーヤ』（はやみねかおる 講談社）[913.8/214-1]

本を読んで心温まる時ってどんな時でしょうか？感動する物語を読んだ時、恋愛を描いた物語を読んだ時、力を合わせて強い敵に立ち向かって行く熱い物語を読んだ時、良いですね。しかし、今回僕が紹介する本は**ドキドキとワクワクが止まらない冒険**を描いた物語です。『都会のトム&ソーヤ』は主人公の普通の（？）中学生、内藤内人と学校始まって以来の天才、竜王創也が僕たちの住んでいる**日常の中で身近に感じられる大冒険**をしてくれます。ドキドキとワクワクを味わって、心を温かくしてみてはいかがでしょうか？



◇中西 真優（内日中学校3年生）

『ぎぶそん』（伊藤たかみ ポプラ社）[913.8/51]

ガク、かける、マロ、リリィが繰り広げる物語。かけるとマロが〇〇〇なったり、ガクとリリィの関係が〇〇〇という話です。「バンドのお話」です。

**さらにもっと多くの心が温まる本を知りたいっ！という人は、ぜひ図書館のサポーター企画展示コーナーまで足を運んでくださいねっ☆**



# ブックハンティング購入本

恒例のブックハンティング（2010年11月、紀伊國屋書店福岡本店にて決行）で図書館サポーター有志が購入した本の一部です。あなたの興味を惹く本が一冊でも多く見つければ幸いです。図書館入り口のサポーター企画展示コーナーに並べていますので、ぜひ訪れてみてください。リスト以外の本もありますよ。

タイトル	著者（編者・訳者）
秋の牢獄	恒川光太郎
神様のカルテ（2）	夏川草介
少女七寵と七人の可愛そうな大人	桜庭一樹
不倫純愛 / 枕女優	新堂冬樹
西巷説百物語	京極夏彦
祭り囃子がきこえる	川上健一
優しいおとな	桐野夏生
乙女の日本史 / 乙女の日本史（文学編）	堀江宏樹：滝乃みわこ
残酷な王と悲しみの王妃	中野京子
ふたりの距離の概算	米澤穂信
おまえうまそうだな	宮西達也
これからの「正義」の話をしよう： いまを生き延びるための哲学	マイケル・J. サンデル：鬼澤忍
装丁を語る。	鈴木成一
高く手を振る日	黒井千次
チーズと塩と豆と	角田光代：井上荒野
もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海
和菓子の絵本：和菓子っておいしい！	平野恵理子



タイトル	著者（編者・訳者）
カッコウの卵は誰のもの / プラチナデータ	東野圭吾
キケン / ストーリー・セラー	有川浩
女王国の城 / 双頭の悪魔	有栖川有栖
謎解きはディナーのあとで	東川篤哉
僕とおじいちゃんと魔法の塔（1～3）	香月日輪
面白くてよくわかる！ギリシア神話：西欧文明の源泉を知る大人の教科書	吉田敦彦
世界の神話ができる本：ギリシア神話・北欧神話から日本神話までこれ一冊で神	歴史雑学探究倶楽部
トワイライト（上/下）（2～4）	ステファニー・メイヤー：小原亜美
日本人が意外と知らないにほんの話	にほん再発見研究会
まんがとあらすじで読む聖書：旧約・新約の解釈がよくわかる！	島田裕巳
世界一わかりやすい「速読」の教科書	斉藤英治
糖尿病レシピ7日間トレーニング	藤原美佐
ハーバード白熱教室講義録+東大特別授業（上/下）	マイケル・J. サンデル：日本放送協会
本質をつかむ思考法	伊藤真
見えない復讐	石持浅海
作家の値段 / 『新宝島』の夢	出久根達郎
図で理解する発達：新しい発達心理学への招待	川島一夫：渡辺弥生
怪盗クイーンシリーズ / オリент急行とパンドラの匣	はやみねかおる
陰陽師 飛天ノ巻・付喪神ノ巻 その他	夢枕獏
心霊探偵八雲（1～6） / secret files	神永学
とっても不幸な幸運 / アイスクリン強し	畠中恵
和菓子のアン	坂木司
遊牧夫婦	近藤雄生
芙蓉千里	須賀しのぶ





図サポの有志たちが、横浜に行って来ました！

私たち梅光学院大学図書館サポーター有志 10 名は、この度、学長をはじめとした多くの方々の支援を受けて、2010 年 11 月 25 日から 27 日の 3 日間、パシフィコ横浜にて開かれた「第 12 回図書館総合展 / 学術情報オープンサミット」に参加して来ました。その活動レポートを、少ないながらここに掲載します。少しでも多くの方々に、図サポの活動の一端を知って頂けたらと思います。



会場入口

プレゼンテーション  
(サポーター長&副長)



展示ポスター



## 図書館サポーター長☆OSAの横浜研修記 全国の舞台に臨んで…

図書館総合展会場内では、大学図書館や私たちと同じような大学図書館にかかわる学生による展示をはじめ、市立・県立図書館の取り組みの展示と発表、出版社や書店など本に携わる様々な会社による事業と新しい図書館備品の展示など、学内の講義だけでは目にすることが出来ないようなものを数多く見学することが出来ました。また、この催し初の学生による発表という、大変名誉な体験もさせて頂きました。横浜到着時は観光気分だった私を含めたサポーター一同も、開催期間中は横浜を観光することも忘れ、会場内に釘付けのようでした。

その中で、私たちの活動が想像以上に多くの方々から見られているのだということも知ることが出来ました。学院内での認知度はまだまだ低く、評価を受けることもほぼ無縁だった私たちには、その事實はたいへん光栄なものでした。しかし一方で、改善すべき点があまにも多く見つかりました。それは、図書館サポーターの改善点や図書館自体の改善点など、多岐に渡るものでした。

私たちは総合展の全日程が終わったその夜、みんなで話し合いの場を設けました。「今までのサポーター活動の曖昧さ」を見直し「新しい図書館サポーターの活動」を作っていこうと、その話し合いは4時間以上にも及びました。

その話し合いで出た意見、現サポーターがこれから図書館のためにしていきたいこと、図書館の変えていきたい部分はあまりに多く、予算面や物理的な都合から多くは私たちの在学中には到底無理なことでもありました。それだけ多くの変えなくてはならないことがあって、そして何かを変えていくということは、長い時間がかかるのだということも、この経験を通して知ることが出来ました。

しかし、たくさんの方々から頂いた評価と、指摘された改善点をふまえ、私たちに出来ること小さなことから積極的に行うとともに、これまで以上に先生方や図書館と連携し、後世に繋がる活動を私たちからしていければと思いました。そして**今年よりも来年が、5年後よりも10年後の図書館が、より学生に使いやすく、親しまれるものになるため、これからの時間を過ごしていきたい**と思います。

(図書館サポーター長 日本文学科2年 田中 聖)

# ☆第四回「読書家大賞」受賞者☆

第四回を迎えた梅光学院大学の読書家大賞。11月の宗教講演会の前に図書館サポーターから受賞者が披露されました。また、参加者全員には梅光学院大学の図書館公式キャラクター「ライブラリアン13世」グッズが進呈されました。第五回もたくさんのご応募をお待ちしています。

- ◇大賞 橋口 安奈（日本文学科4年）【図書券1万円進呈】
- ◇準大賞 田中 聖（日本文学科2年）【図書券5千円進呈】
- 大坪 睦（日本文学科2年）【図書券5千円進呈】
- ◇ナイスコメント賞 細森 郁美（日本文学科2年）【図書券3千円進呈】

「読書家大賞」は梅光学院大学父母会課外活動等奨学金より、図書館サポーターが頂いたお金で運営しております。父母会のご厚意に、心から感謝致します。

図書館キャラクター  
ライブラリアン13世



## 第五回「読書家大賞」の応募はもう始まっています！！

応募方法：本学図書館所蔵の本を読んで一言コメントを図書館で投票。  
または、大学生協主催の読書マラソンに応募。  
両者の合計冊数で決まります。

応募締切：2011年10月初旬（詳細な日程は、後日図書館などに掲示）



## ☆特別企画☆読書家大賞受賞者たちに聞いた

### 「読書を漢字一文字で表すと!？」

第四回読書家大賞受賞者のみなさんに頂いたコメントです。それぞれの読書への熱い思いを、漢字たった一文字で表現して頂きました。一文字という小さな空間に凝縮された彼らの読書への思いは、あなたの瞳にはどのように映っていますか？

◇橋口 安奈（大賞・日本文学科4年）：“馨”

いつまでも読んだ記憶が自分の中に残るからです。本には本それぞれの匂いがあると思っています。本を開いた時にその匂いを感じることができるのも、読書の醍醐味だと思います。

◇田中 聖（準大賞・日本文学科2年）：“聖”

それは何よりも大切な習慣。唯一無二であるかけがえのない財産。…他の何にも、変えられないもの。そんな私の「読書」には、世界でたった1つの「自分の名前」を与えたい。  
……とかどう？(笑)

◇大坪 睦（準大賞・日本文学科2年）：“命”

私の人格形成は読書によってなされたと断言しても過言ではないと思っている程に、読書が私に与えた影響は大きいから。



図書館と学生を見守る  
ライブラリアン13世

図書館のマスコットキャラクター（仙人兼務）のライブラリアン13世、ライちゃんのことにはもうご存じですか？そのライちゃんがこの度、人形になり図書館の展示用ケースの中と図書館サポーター展示コーナー付近に置かれています。時間があるときは図書館に足を運んで、ライちゃん人形に会いに来てください!!作成秘話については「とぼログ!」に一足先に掲載されているのでご一読をお願いします。

図書館サポーター全員がライちゃんを連れて歩けるように、人形を大量生産しました。みなさんにもっとライちゃん存在が浸透するように人形作りを頑張ろうと思います!!学内でライちゃんを見かけたら、図書館の宣伝活動を手伝ってくれているライちゃんに一言、労いの言葉をかけてください。

（日本文学科1年 人形職人・澤田瑞穂）

## 自動貸出返却機の設置! : 秘密兵器 ABC! 手間いらず

### 《自動貸出返却機の投入》

2010 年度後期より図書館に自動貸出機が投入されました。忙しい時に別の人がカウンターで先に本の貸出手続きをしている、または返却をしたいけど時間が……、そんな時に役立ちますよ!!

### 《貸出の際に必要な物》

・学生証 ・借りたい本（学生 5 冊、大学院生 10 冊まで）

### 《貸出の手順》

- 一、貸出のパネルにタッチします。
- 二、学生証を機械に置きます。この時、表側の写真の方は上に向けずに、裏側のバーコードが載っている方を上に向けます。
- 三、本を開き、本の背中を奥にしてバーコードを通します。この時にゴトンと音がすれば、それは貸出された証拠ですっ!!
- 四、必要な冊数だけ借りたら終了のパネルをポチッとな。



※なお、延滞後の再度貸し出しは不可（延滞日数分の利用ストップ）となります。そのまま借りようとしたら、非常にやかましい音が鳴りますのでご注意ください。返却期限はキチンと守りましょう。（日本文学科 1 年 河内野春紀）

### 図書館サポーターによるブログ「とぼログ!」好評配信中

2010 年 5 月から学院 HP にて配信開始。意外にも学外で好評を博す。学生の皆さんにももっと読んで欲しいな。ブログへのたどり着き方は以下の通り。

<http://www.baiko.ac.jp> ⇒ 図書館 ⇒ 「とぼログ!」

‘過去ログ’ もあわせてどうぞ。



### 編集後記 . . .

少しばかり(?) 遅いですが、皆さん新年明けましておめでとうございませう! 『タブラ・ラサ』 14 号をお届けいたします。まだまだ寒い今日この頃、暖を取るのに心が温まる本はどうですか? ブックハンティング購入本には、気になる本は入っていましたか? 皆さんに是非とも読んで欲しい一品揃いです。まもなく長い春休み、手持ちぶさたになる前に、図書館で本を借りていてくださいね。  
(日本文学科 2 年 田中 聖)